

た + す + と

2011年1月

第16号

市民活動や地域活動をしている方、
これから活動したいと思っている方に
役立つ情報を隔月で発信しています。

●もくじ●

- P 2 はじまりは たがさぼ 「たがさぼフェスタ2010」から生まれたコラボ
- P 3 地域と企業が元気になる社会貢献物語
ゼライス株式会社 編
- P 4 多賀城周辺2市3町に情報を発信！
メディア活用大作戦
- P 5 多賀城市市民活動サポートセンター事業報告
出前さぼせんinたがじょう市民市
たがサポブックレビュー
『おもしろい町人(まちなちゅ)』
- P 6 たがサポ事業紹介
年末年始休館日のお知らせ
『たがサポ』とは？
『たがサポ』の機能って？

今月のひとコマ



私にも何かできることあるかな？
ボランティア情報が満載！
→詳しくは右のコーナーへ

『ボランティア情報コーナー』では、団体や施設などで活動するボランティアの募集情報を掲示しています。

ボランティア活動は、「できることから」「無理をしないで」「楽しく」自分のペースで活動できるものを見つけることが長続きのコツです。日々忙しい方でもできる短時間の活動や、体験プログラムから始めてみるのもおすすめです。誰かのためになるだけでなく、活動を通して仲間を見つけたり、視野が広がるなど、自分のプラスになったという声も聞かれます。

地域や社会で自分の経験を生かしたいと思う方、こんな活動に興味があるという方は、どうぞ気軽にお立ち寄りください。

あわせて「仲間を集めたい」「ボランティアをお願いしたい」という団体からの情報もお待ちしています。

はじまりは たがさぼ

「たがさぼフェスタ2010」から生まれたコラボ

10月2日(土)に実施した「たがさぼフェスタ2010」をきっかけに団体同士の新たなコラボレーションが生まれました。今回はその中から2つの事例を突撃取材。お互いの強みを生かしながら開催されたイベント当日の様子をご紹介します。

仙台市花壇大手町町内会 × T A P 多賀城

たがさぼフェスタのテーマトークで「普段から顔の見える地域づくり」をテーマにお話いただいた花壇大手町町内会会長の今野さん。当日の昼食としてお出ししたT A P多賀城特製タケヒロネを食べ「これはおいしい。農園の収穫祭にぴったりだし町内会のみんなも喜ぶだろう」と思い、すぐその場で「収穫祭に来てタケヒロネを提供してほしい」とT A P多賀城のメンバーに声をかけたそうです。タケヒロネは多賀城産のトマトをはじめ、季節の野菜が入った具だくさんのスープ。多賀城市内ではおなじみのタケヒロネですが、今回はおとなりの仙台市の人にも知ってもらおう機会となりました。

11月13日(土)収穫祭当日は快晴。仙台市青葉区大手町にある「まちなか農園藤坂」におじゃましました。収穫祭では、産直市や花の苗植え、野菜のお絵かき体験など、子どもから大人までみんなが楽しめるプログラムがいっぱい。タケヒロネは、地域のお母さんたちが作ったポテトサラダと漬物、農業指導をしている農家の方特製の炊き込みごはんとともに登場しました。「地域のお母さんたちに作り方を聞かれるくらい好評だった」というT A P多賀城代表の佐藤さん。レシピを紹介しながら開催直前の「悠久の詩都の灯り」もPRしていました。

T A P多賀城にとっては多賀城市近郊の人たちに活動を知ってもらおう機会になり、花壇大手町町内会にとっては、市の枠を越えた新たなつながりを生む機会となりました。



収穫祭ではたくさんの地域住民が交流を深めていました。

←「たがまる」には多くの若い女性が足を止めていました。(「悠久の詩都の灯り」の1コマ)



T A P 多賀城 × アトリエふるふる

この季節、恒例となったJ R多賀城駅前を彩る灯りのページェント「悠久の詩都の灯り」。初日となった11月23日(火)の駅前広場は、点灯式セレモニーありライブあり屋台ありと寒い中、大勢の市民が集い盛り上がりを見せました。このイベントは多賀城の中心市街地を活性化させるため活動しているT A P多賀城が仕掛けています。T A P多賀城おなじみのタケヒロネの販売のほか、オリジナルTシャツの販売、募金コーナーも設置されていました。

今年は例年になく多くの屋台が出店していましたが、その中でも若い女性が足を止めているブースがありました。アートと食をテーマに活動するアトリエふるふるが中心となった、「たがまる(多賀城マルシェ)」のブースです。たがさぼフェスタのにぎわいマーケットでおとなり同士だったT A P多賀城から声をかけられる形で今回の出店が実現したそうです。

「たがまる」では、おいしそうな手づくりシフォンケーキやおこわ、天然酵母パン、珈琲豆等の販売があり、何を買おうか迷ってしまうほど豊富な商品がそろっていました。アトリエふるふるの佐藤さんも1月に行うイベントのPRをしながらお客さんとの会話を楽しんでいました。

T A P多賀城にとっては、新たな層に「悠久の詩都の灯り」を知ってもらおう機会につながり、アトリエふるふるにとっては活動の新たなPRの場になったり、双方にとって実りのあるイベントとなりました。

地域と企業が元気になる 社会貢献物語

ゼライス株式会社 編

●それは鯨から始まった

同社は昭和16年に「宮城化学工業所」として創業。解体した鯨からゼラチンを抽出し、軍需物資として供給することから歴史が始まりました。その後、昭和28年に看板商品となる家庭用ゼラチンパウダー「ゼライス」を発売し、現在では食用製品のほかに医薬用、工業用など、さまざまな用途に使用される製品を製造、販売しています。同社は長く仙台市若林区に本社を置いていましたが、昨年までに多賀城市への移転を完了させ、新たな体制で操業を続けています。

●「ゼリーのまち仙台」推進協議会

昨年、仙台がゼリーの消費量において日本一多い街であることが報じられました。これを契機に平成22年4月20日「“ゼリーのまち”仙台推進協議会」が発足。ゼライスは原料メーカーとして培った幅広いネットワークを生かし、事務局として協議会の活動全般をコーディネートしています。その目的は、「ゼリーを食する文化」の価値を改めて見直し、PRや新製品の開発などを通じて、全国から仙台への集客増加を目指すこと。単にゼリー消費の増加を目指すだけではなく、その力を新たな仙台の「まちの魅力」として活用しようとしている点が特徴的です。そのために、飲食や宿泊業のほか、農協や大学までの12団体・企業が参加し、今年7月にはゼリーレシピのコンテストを開催したほか、農協と協力してササニシキを用いたゼリーを開発したり、「そもそも、なぜ仙台ではゼリー食が多いのか？」という歴史的事実の発掘を大学と連携して続けています。今後は、これらの成果を会員企業の飲食店で市民や観光客にPRするほか、過去の歴史的なゼリー料理を再現して全国へ発信する予定です。地元企業としての使命感を大切にしながら、地

ゼリー菓子や煮こごりを作る時には欠かせない粉末ゼラチン。「ゼライス」と書かれた小さな箱が、あなたの家の台所にあるかもしれません。この「ゼライス」を製造・販売するゼライス株式会社は、実は多賀城市に本社があります。ゼラチン製品の世界的企業として活躍する同社は、その特長を活かしたユニークな地域貢献活動に取り組んでいます。その内容は、これからの多賀城市の地域づくりに役立つヒントがあるようです。

域に密着した新たな食文化の創造に貢献することを目指しています。

●最先端の科学を理科の授業で

一方で、ゼライスはゼラチン製品開発のパイオニアとしての技術力を、小学校の理科の授業として提供する活動にも取り組んでいます。これは平成21年から仙台市内の小学校を回り、ヒトの消化の仕組みについて研究の第一線で活躍する社員が直接授業を担う活動で、仙台市理科特別事業の仕組みを活用して展開しています。主にデンプンについて学ぶ6年生を対象とし、今年は山間部の小さな小学校にまで足を運ぶことで、理科離れが言われて久しい教育現場に科学の楽しさや、それを仕事とすることの魅力などを届けています。

●製品の魅力をまちや社会の力に変える

ゼライスは、同社の製品が持つ機能や役割、そして魅力を十二分に把握し発信することで、ゼライスにしかできない地域貢献の形を生み出しつつあります。それらの取り組みについては、原料メーカーとしての幅広いつながりを活かし、製品の顧客などとのネットワークと連携することで、さらに価値を高めることに成功しています。ゼリーに象徴される同社の魅力がどのように地域の力となっていくのか、その活躍に期待が集まります。

ゼライス株式会社

住所: 多賀城市栄4-4-1

TEL: 022-361-8821

FAX: 022-367-5470

URL: <http://www.jellice.com/>

多賀城周辺2市3町に情報を発信！

メディア活用大作戦

イベントを開催するとき、一緒に活動する仲間を集めたいときなど、団体の情報発信の手段のひとつとして、新聞・テレビなどのメディアがあります。今回は、多賀城周辺を主なエリアとして情報発信しているメディアを集めました。地元密着のメディアを上手に活用し、新たな理解者や協力者を増やしませんか。

宮城ケーブルテレビ株式会社 マリネット 「いどばた館」「LEOの珍井中」	
発信エリア	仙台市・塩竈市・多賀城市・東松島市・石巻市・名取市・七ヶ浜町・利府町・松島町・大郷町の各一部
掲載のポイント(掲載しやすい情報)	
一般視聴者向けの情報であれば何でも可。(行政情報・お店のPR・個人出演・イベント宣伝・サークルや友達・家族の紹介など) 政治・宗教・暴力・性表現等、思想的に偏ったもの、お茶の間の話題にふさわしくないものは受け付けません。内容により対応するチャンネル・番組が異なりますのでご相談ください。	
担当者のコメント	
マリネットは、現在10市町15,000世帯あまりに向け地域ニュース・情報をお送りしています。テレビならではの映像や生の声を生かしたメッセージをお届けすることができます。どしどし情報をお寄せください。連絡はFAXがおすすめです。	
掲載日・〆切	上記番組は毎週土曜日20:00～OA。1週間以上前に連絡を。その他は随時受付。
連絡先	〒985-0021 塩竈市尾島町27-23 TEL:022-367-7711 FAX:022-366-8881 E-mail:info@c-marinet.ne.jp URL:http://web.c-marinet.ne.jp/

エフエムベイエリア株式会社 ベイウェーブ (78.1MHz)	
発信エリア	塩竈市を中心に多賀城市・七ヶ浜町・松島町
掲載のポイント(掲載しやすい情報)	
一般聴者向けの情報であれば何でも可。(行政情報・お店のPR・個人出演・イベント宣伝・サークルや友達・家族の紹介など) お知らせ内容を明記の上、EメールもしくはFAXでお寄せください。政治・宗教・暴力・性表現等、思想的に偏ったもの、お茶の間の話題にふさわしくないものは受け付けません。	
担当者のコメント	
「この情報、もっと多くの人に知ってもらいたい！」誰かに話したくてウズウズしている皆さん、そんな時はラジオを通して伝えてみませんか？皆さんの想いを電波に乗せて…。リスナーの皆さんが気軽に参加できる番組作りを心がけています。	
掲載日・〆切	お昼(12～14時)と夕方(17～19時)の生放送番組内で随時受付。
連絡先	〒985-0021 塩竈市尾島町27-22 TEL:022-363-3781 FAX:022-363-5781 E-mail:info@bay-wave.co.jp URL:http://www.bay-wave.co.jp/

毎日新聞スマイル情報誌 「地域イベントカレンダー」など	
発信エリア	多賀城市・塩竈市・七ヶ浜町・利府町・仙台市宮城野区一部へ5万部を発行
掲載のポイント(掲載しやすい情報)	
必須記入事項:①日にち②場所③時間④参加料の有無⑤問合せ先⑥内容(簡単に)※事前申込が必要なもの、参加料のかかるもの、参加対象が限定されるものは掲載不可。地域イベントカレンダーのほかにも、市民活動団体の紹介などまちを盛り上げようとがんばっている方を取り上げることもあります。(誌面の都合上掲載できない場合があります。)	
担当者のコメント	
スマイルのテーマは「トコト地域密着」です。どんな些細な情報でも構いませんのでお寄せください。地域の回覧板のようなスタンスで利用していただければと思います。	
掲載日・〆切	毎月第2金曜日発行。前月の20日〆切。
連絡先	〒985-0835 多賀城市下馬3-2-9 TEL:022-365-4513 FAX:022-365-5060 E-mail:smile@yourlife-smile.com URL:http://www.yourlife-smile.com

広報多賀城 「交流ひろば」	
発信エリア	多賀城市全戸・多賀城市内の一部企業など
掲載のポイント(掲載しやすい情報)	
原稿の内容は、タイトル、日時、会場、内容、対象、費用、問い合わせ先を明記し、市役所2階地域コミュニティ課広報広聴係に直接、またはFAXで。(所定の様式は地域コミュニティ課にあります。上記の内容が記載されていれば様式は問いません。)	
担当者のコメント	
誌面のスペースの都合上、お寄せいただいた情報はすべて掲載することができない場合があります。市民による市内での活動を優先して掲載しますので、それ以外の情報は掲載できない場合があります。営利を目的とした事業などは掲載しません。また、広報誌に掲載した情報は市のホームページにも転載されません。	
掲載日・〆切	毎月1日発行。掲載したい月の前月の5日まで。
連絡先	〒985-8531 多賀城市中央2-1-1 TEL:022-368-1141(内線254、255) FAX:022-368-2369 E-mail:koho@city.tagajo.miyagi.jp URL:http://www.city.tagajo.miyagi.jp/

宮城県内の情報は当センターやホームページで入手できる「市民活動お役立ち情報」をご覧ください。

【多賀城市市民活動サポートセンター事業報告】

出前さぼせん in たがじょう市民市

11月21日(日)に行われた『第28回たがじょう市民市』に、たがさぼも参加してきました。当日は30以上の飲食ブース、地元農産物の産直販売、フリーマーケットなどがありました。ステージではビンゴ大会などたくさんの催し物があり、家族連れからお年寄りまで、市内外から多くの方が来場され楽しく賑わっていました。

たがさぼは昨年引き続きブースを構え、来場者に向けて当センターの案内を載せたポケットティッシュを配布しながら、当センターの場所や活用方法をPRしました。また、主に多賀城市内を中心に活動している市民活動団体のイベントチラシなどを配布



し、広くご紹介することができました。

昨年参加したときに比べ、来場者から「たがさぼのことは知っていますよ」「行ったことがあります」など、うれしい言葉をかけていただきました。

今後も地元で開催されるイベントに、どんどんブースを設置していきます。お気軽にお立ち寄りください。

たがサポブックレビュー

「たがサポ文庫」の中から、スタッフおすすめの1冊を紹介します。



『おもしろい町人(まちなちゅ)』

著者：延藤安弘
発行：株式会社太郎次郎社エディダス
発行日：2006年4月1日

平成23年1月29日、延藤さんをゲスト
に迎えたイベントを開催予定！
詳しくは6ページをご覧ください。



★E1まちづくりの棚にあります

「おもしろい町人」とは、多様に変化する現代社会の中で地域の問題をエネルギーに転換して、まちづくりを生きがいに活動する住民ひとりひとりのことを指しています。

事例として紹介されている武蔵野緑町タウンは、公団住宅の建て替えを巡り、住民と公団でやりとりがありました。家賃が上がり、住民の意見を取り入れない間取りや、自然環境あふれる住民たちの憩いの場が駐車場となることに住民は猛反対し、公団相手に立ち上がりました。住民たちは自らの発想で、周囲に対

し、団地の未来を想定した演劇を通して問題を呼びかけました。また、自然環境を観察して地域に生息する草花や野鳥の魅力と、高齢者が長く住み続けられるような間取りを公団側に訴え、理解を得ることに成功しました。本書では、最終的に住民の意見が取り入れられた建て替えを実現するまでの経緯が紹介されています。

「人・物・事」を資源として、想いをカタチにして相手の心にしっかり伝えていくユニークなアイデアや、多種多様な表現方法を展開する人たちの事例を、写真で見せながら分かりやすく紹介しています。

【スタッフ：近藤浩平】

■たがサポ文庫
情報サロン内にある市民活動に関する図書・雑誌が貸出・閲覧できます。

■図書販売コーナー

NPO・市民活動団体が発行する図書(報告書、パンフレット等)を販売しています。

詳しくは窓口までお問い合わせください。

- お預かりします：NPO・市民活動団体が発行する図書等をお預かりし、市民の皆さんへ販売をしています。自分たちの活動を広く知ってもらえる機会となるだけでなく、団体の収益にもつながります。
- 購入できます：一般の書店では見つけにくい団体の書籍もあります。購入していただくことによって、団体の活動を詳しく知ることができ、資金面での支援にもつながります。



たがサポ事業紹介

…平成22年度に「たがサポ」で行う講座やイベントをご紹介します。
みなさんのご参加をお待ちしています！



●こみゆにていプロジェクト学習交流会と記念講演

これまで2年間にわたって続けられてきた「こみプロ」の成果と展望について発表するとともに、市民の交流と議論と参加の力で素敵なまちづくりを実現して来られた延藤安弘さんによる「幻燈会」を開催します。

- 日 時:平成23年1月29日(土)13:30～16:30
- 場 所:多賀城市民会館小ホール(文化センター内)
- 参加費:無料
- ゲスト:愛知産業大学大学院教授
NPO法人まちの縁側育くみ隊
代表理事 延藤安弘さん

●会社と地域が「つながる」仕事のつくりかた ～地域貢献活動とソーシャルビジネスの実践事例

地域貢献活動を経営の重点項目に掲げたり、地域課題を解決することそのものを経営目的とするソーシャルビジネスが今注目

されています。多賀城市内で地域貢献やソーシャルビジネスに取り組む企業からゲストをお招きし、会社と地域をつなげる仕事のつくり方や、現場からの報告をみなさんにご紹介します。

- 日 時:平成23年2月3日(木)13:30～16:30
- 場 所:多賀城市市民活動サポートセンター
- 参加費:無料

●地域づくりいちから塾

地域や社会のお役に立ちたい方へ地域づくりの事例やNPOのいろはをお伝えします。たがサポの活用方法がわかるガイドツアーもあります。

- 日 時:平成23年2月15日(火)19:00～20:30
- 場 所:多賀城市市民活動サポートセンター
- 定 員:10名(先着順)
- 資料代:500円



◆ 年末年始休館日のお知らせ ◆

平成22年12月28日(火)～平成23年1月5日(水)まで休館します



■『たがサポ』とは？

市民の皆さんが行うまちづくりや地域づくりにつながる活動を総合的に応援することを目的として設置した施設です。市民・自治会・学校や企業の皆さんとの間で協働によるまちづくりを推進することも目的にしています。

- 開館時間:月～土曜日 午前9時から午後9時30分まで
日曜日・祝日 午前9時から午後5時まで
- 休 館 日:毎週水曜日(水曜が休日の場合、翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
- 交通案内:JR仙石線多賀城駅より徒歩12分
駐車場・駐輪場があります

■『たがサポ』の機能って？

- ①市民活動の場の提供
 - ・貸室(有料)
市民活動の研修やイベント、会議等に使用できます。
 - ・交流サロン(予約不要・無料)
少人数の打ち合わせや事務作業などに利用できます。
 - ・レターケース(無料) ※利用申込受付中
 - ・ロッカー(200円/月) ※利用申込受付中
 - ・事務用ブース(1,000円/月)
 - ・印刷作業室
印刷機(用紙持ち込み/1製版100円/500枚)
コピー機(10円/枚)
 - ②市民活動に関する情報の収集・提供
 - ・情報サロン
市民活動に関するさまざまな情報があります。
チラシ・ポスターの受付、図書(閲覧用)、
助成金情報、ボランティア情報、パソコン
(作業・インターネット用/無料)
- ※団体紹介パンフレット・イベントチラシなどをお持ちください！
- ③市民活動に係る人材の育成・支援
 - ④市民・企業・行政の連携及び交流の推進
 - ⑤市民活動に関する相談への対応

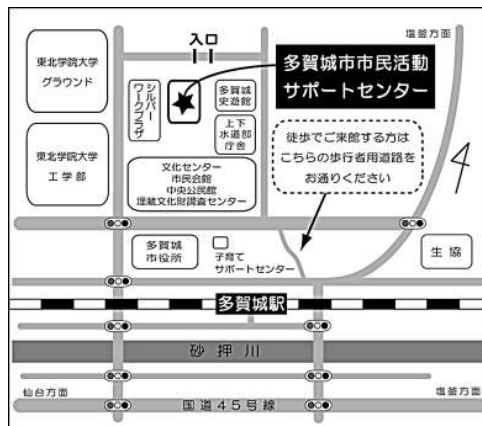


多賀城市市民活動サポートセンター
公式ホームページ
<http://www.tagasapo.org/>
事務局スタッフブログ
<http://blog.canpan.info/tagasapo/>

ぜひチェック
してくださいね

■たがサポは皆さんに支えられています

- 自動販売機の設置
たがサポ内に設置している自動販売機の売り上げの一部は、多賀城市内の市民活動の推進のために使われます。協力企業:宮城中央ヤクルト販売(株)
- 印刷作業室のコピー機
印刷作業室のコピー機は、コニカミノルタビジネスソリューションズ株式会社の市民活動を応援するという趣旨により、社会貢献価格にてご提供いただいています。



- 発 行:多賀城市市民活動サポートセンター
〒985-0873 多賀城市中央二丁目25-3
TEL:022-368-7745 FAX:022-309-3706
- 発行日:2010年12月20日
- 編 集:特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター